

はあとのあと

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

2011(3)

第23号



七夕祭り（珠洲市宝立町）

病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

目次

- ・災害医療対策訓練を行いました 1
- ・災害支援活動に参加しました
- ・東日本大震災義援金のご報告 2
- ・認知症ネットワーク推進についての
検討会を行いました
- ・当院初診時にはお薬の情報を教えてください 3
- ・ふれあい看護体験
- ・看護学生のための就職情報交換会 4

災害医療対策訓練を行いました



7月9日、災害医療対策訓練を行いました。今回の訓練は、珠洲市防災計画に基づき、能登半島の東方沖で M7.8(震度6強)の地震が発生し、その後津波が発生するという想定で行われ、医師、看護師、事務職員ら約120人が参加しました。この訓練は、災害拠点病院としての機能を果たすため、万が一に備えての患者の受け入れ態勢の確認や、トリアージと呼ばれる傷病者の治療優先順位決定技術の習得を目的に毎年行われています。

平日の午後三時ごろに津波警報が発令され、津波の高さが7.6m、津波到達時間が18分前後という想定で行われました。そのため、来院中の患者さんを2階へ避難させる訓練も行いました。その後、地震や津波による被害者の受入訓練を行い、各部門のトリアージに対する基本的な行動を確認しました。

珠洲市総合病院来院中に地震による津波警報が発令された場合のポイント

- ① 津波警報が発令されたら外に出ない。
- ② 職員の指示に従い、落ち着いて2階へ避難する。(自力での歩行が困難な方は職員が対応します。) ※地震発生時、エレベーターは利用できません。
- ③ 津波警報が解除されても余震の恐れがあるので、行動する際には十分気をつける。



この訓練では、それぞれの専門分野に専念できる環境づくりを目指すとともに、各部門の対応行動を互いに理解することで、災害拠点病院としての災害対応能力の向上を目指しています。参加した職員は真剣な表情で取り組み、訓練後は院長はじめ参加した職員全員での反省会を行い、災害時における各々の行動や改善点を確認しました。参加した職員からは「津波が来るという想定での訓練ができてとても有意義だった。日ごろの業務においても、慌てることなく自分が何をすべきかということをはかしていきたい。」「スムーズにできなかった点もあったけど、この反省点を活かし万一のときに役立てていきたい。」と、様々な感想を話していました。

当院では、このような訓練を通して患者さんや地域の方々にさらなる安心を提供していきます。

災害支援活動に参加しました

東日本大震災による被災地域への医療救護活動として、当院の救護班が派遣されました。当院から救護班が派遣されるのは今回で2回目です。医療救護班として吉田尚弘医長、大屋薬局長、鍛冶看護師、桜井主事の4名が宮城県石巻市に派遣されました。

今回の活動は6月30日から7月4日までで、石巻市内の診療所や避難所で医療活動を行いました。



今回の派遣に参加した吉田医長は「初めての派遣でしたが、地元の医療機関にて医療ニーズは補えてきているように思いました。診療所では30人前後の患者さんの診療にあたりましたが、慢性疾患の患者さんが大半でした。現地の医師とも話をしましたが、今後は被災地域の医療環境の再構築が必要とのことでした。また、現地の方からは、現地に届く支援物資が少なくなっているとの聞き、一過性の支援ではなく継続的な支援が必要であると思いました。今回の派遣はとても良い経験になりました。」と、また前回の派遣にも参加した桜井主事は「前回の派遣を経験したことで、今回は少し余裕を持って行動することができました。引き継ぎや情報の集約もスムーズに行うことができ、円滑に業務を遂行できたと思います。この経験をこれからの業務に活かしたいと思います。」とそれぞれ感想を話しました。震災の被害にあわれた方々のご冥福と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



東日本大震災義援金のご報告

当院では東日本大震災に被災された方々を支援するために、1階総合案内前に募金箱を設置しております。3月17日に設置してから7月7日までに、皆様からこの募金箱に199,786円をお預かりすることができました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。なお、この義援金は珠洲市役所を通じて被災された方々へ送金されます。

一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



認知症ネットワーク推進についての検討会を行いました

6月23日に認知症ネットワーク推進についての検討会を行いました。当検討会では公立能登総合病院医師であり、当院の精神科医でもある西村医師が講演した後、認知症の患者さんを支援できる体制作りについて話し合われました。

現在の珠洲市は、人口の40%である約6,800人が高齢者に該当し、そのうち約1,000人が認知症の患者さんだと考えられています。奥能登地区は全国的に見て高齢者割合が高いですが、認知症に特化した精神科病院や施設がありません。こうした状況から、珠洲内浦地域では、常に認知症の患者さんの対応が出来るように、個人医院と精神科のある当院、そして深夜などの緊急時に対応が出来る専門病院の連携が以前から求められています。



この現状を踏まえて、認知症の患者さんを支援できるような連携組織として「珠洲内浦地域連携協議会」を当検討会から発足することとなりました。各医療機関の先生方からは、「緊急時における連絡先ができて助かる。」「またこういった機会を設けてもらいたい。」など、今後も地域における緊密な連携が必要との意見が多い様子でした。

こうした取り組みは珠洲と内浦だけではなく、能登地区でも「能登地域認知症診療ネットワーク推進連絡協議会」が発足しており、広く支援できる環境が整えられてきています。珠洲市総合病院もその一端を担い、地域一体となった医療に取り組むことで、更に充実した医療体制を目指します。

当院初診時にはお薬の情報を教えてください

当院を含め各病院や薬局では、お薬の情報が書かれた紙（薬剤情報提供書）をお渡ししています。

患者さんにとって、薬剤情報提供書は効能や禁止事項が把握できるため、非常に大切です。また、医師にとっては普段どのようなお薬を飲んでいるか確認でき、患者さんそれぞれに合った最適なお薬をスムーズに処方することができるので、診察の際にはとても有効です。そのため、**当院初診時に他の医療機関や施設でお薬をもらっている方は、薬剤情報提供書やお薬の名前を記したメモを持参していただくようお願いを申し上げます。**

大変お手数ですが、よりよい治療のためにご協力をお願いします。

珠洲 太郎 様のおくすり

ID 生年月日

★他の病院、診療所に受診、または薬局で薬を購入するときはこの説明書を見せてください。

平成 年 月 日
引換番号：
診療科：

ゼチーア錠 10mg		(白色/素錠 E210)	
処方	朝	昼	夕
1			
1日1回 朝食後			
63日分			
【効能】	血液中のコレステロールや植物ステロールを減らす薬です。小腸においてコレステロールや植物ステロールの吸収を阻害することにより、これらの血中濃度を低下させます。		
【副作用】	便秘、発熱、下痢、腹痛、めまいなどが強く、気分が悪くなる、吐き、発疹、臨床検査値異常等が現れることがあります。		
【注意】	薬の服用と同時に、摂取している食事療法、運動療法なども正しく行って下さい。喫煙も控えて下さい。 妊娠中、妊娠してある可能性のある方、授乳中の方は、医師、薬剤師にそのことを伝えて下さい。 発熱、発熱、かゆみ、顔・唇・舌・口・のどなどが腫れる等の過敏症状が現れた場合には中止し、すぐに医師、薬剤師に連絡して下さい。		

見本

珠洲市野々江町工部1番地1

珠洲市総合病院

ふれあい看護体験

5月12日、当院において「ふれあい看護体験」が行われ、飯田高校の生徒12名が参加しました。参加した高校生たちは追分院長から辞令を受け取り、看護師長から看護師の仕事について説明を受けた後、シーツ交換や食事の介助、赤ちゃんの沐浴の見学などを行いました。参加した生徒は、「普段体験できないことができ、とても良かった。」「入浴や食事の介護は大変。でも、看護師ってカッコイイ!!」と感想を話していました。



食事の介護って大変だけど喜んでもらえる嬉しい!



かわいいけれど、ずっと抱くのはこわいです…

慣れない看護師の仕事にとまどいながらも、一生懸命患者さんに接する高校生たちの姿に、患者さんたちの心も安らいだのではないのでしょうか?

今回参加した高校生みなさんが立派な看護師になって、将来珠洲市総合病院で共に働けることを楽しみにしています!!

看護学生のための就職情報交換会

6月18日、地場産業振興センターにおいて、看護学生のための就職情報交換会が行われました。今年も当院は地域住民の心身の健康を目指し、安心と信頼を提供する病院であることをアピールしてきました。

当院のブースでは珠洲市出身の学生だけでなく、輪島市や能登町出身の学生など、多くの学生が立ち寄りました。



たくさんの学生で賑わっています



熱心に説明を受ける学生



当院のブースにも大勢の学生が立ち寄りました

説明にも熱が入ります



当院の看護師からの説明を受けた後、学生たちは、「珠洲市総合病院では、看護師に対してどのような教育支援プログラムを行っていますか?」「珠洲市総合病院には、看護師さんは何名くらいいらっしゃいますか?」など、熱心に看護師に質問していました。

学生の皆さん、就職はぜひ珠洲市総合病院でお願いします(^▽^)

外来受診手順

I. 受付

初診 総合案内で診察申込書を記入し、保険証と一緒に提出してください。カルテと診察券をお渡ししますので、診療科窓口に保険証と一緒に提出してください。

再診 直接、診療科窓口の受付箱（診察または薬）に診察券を提出してください。



II. 診察・検査

診察・検査を受けられる場合は、手荷物等の貴重品は必ず持ってお入りください。

全ての治療が終わりましたら、診療科窓口より診察券を受け取り、会計窓口へお持ちください。

III. 料金支払い・薬の受け取り

会計窓口で診察券をお出しください。診察券を出された順にお呼びします。薬のある方は、『薬の引換券』をお渡ししますので、薬局で薬をお受け取りください。お薬の番号は、薬局TV画面にて案内しております。

外来診療日程

平成23年7月1日現在

午前 受付時間 7:30~11:30 診療時間 9:00~12:30

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	波佐谷	追分	波佐谷	循環器	波佐谷
	2 診	追分	廣谷	南	追分	吉田(昌)
	3 診	廣谷	吉田(尚)	追分	吉田(昌)	南
外科	坂本	庄司	坂本	正司	庄司	
呼吸器外科					小田 <small>ほか</small>	
小児科	山口(由)					
耳鼻咽喉科	星田	栂田				
整形外科	伊藤・下崎					
産婦人科	山城					
脳神経外科	浜田	田中/長谷川	浜田			
泌尿器科	月曜日診療（月曜日が休日の場合、火曜日診療） 栗林/大筆/飯島/中嶋					
皮膚科	越後		永岡	尾高 <small>診療開始 10:00~</small>		
精神科		小坂			西村	
健診室	佐々木					

午後 受付時間 12:00~16:00 診療時間 14:00~17:00

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	佐々木	吉田(昌)	佐々木	南	循環器 <small>(第2・4週)予約</small>
	3 診					廣谷
外科			正司			
小児科	三種混合	慢性疾患	健診・予防接種			
耳鼻咽喉科	栂田					
眼科				馬渡・山田 <small>(隔週)</small>	馬渡 <small>受付 15:00まで</small>	
産婦人科	産後2週間健診	産後2週間健診	産後1ヶ月健診	産後2週間健診	産後2週間健診	

小児科
(月) 三種混合 15:00~15:30
(火) 慢性疾患 14:00~16:00
(水) 健康診断 14:00~
予防接種 15:00~

産婦人科
(月)(火)(木)(金)産後2週間健診 14:00~
(水)産後1ヶ月健診 13:30~

その他
(水)糖尿病予防教室 14:00~15:00
(月)~(金)医療相談

※救急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

※表示日程は都合により、一部変更になる場合があります。

※午後の初診の方は、できるだけ15:00までに受付をお願いします。

編集後記

震災の影響で節電が叫ばれており、院内でも各所で蛍光灯を抜くなどの節電対策をしています。日本中が例年以上に暑く感じる夏になりそうですが、こまめに水分補給をしながら、この夏を乗り切りましょう!!

茶☆豆

